

平成 22 年 1 月 7 日

「教員のための金融教育セミナー」開会挨拶要旨

皆さん、こんにちは！ 本日は、年始で授業のご準備等大変お忙しい中、「教員のための金融教育セミナー」におこしいただきまして、誠にありがとうございました。

私は北海道金融広報委員会委員で、日本銀行旭川事務所長の^{にっぽん}尾家啓之^{おいえひろゆき}と申します。本日は進行を務めさせていただくと共に、主催者を代表しまして、一言ご挨拶申し上げます。

北海道金融広報委員会とは、日銀本店内に事務局をおいている金融広報中央委員会の北海道における組織であります。高橋はるみ知事を会長として、道内の行政や金融関係者、日本銀行の支店・事務所により構成されています。中立・公正な立場から、「くらしに役立つ身近な金融情報を提供する」ことを目的として、「金融知識の普及」と「金融教育」を両輪として活動しております。

さて、皆さまご承知のとおり、昨年文部科学省では約 10 年ぶりに学習指導要領を改訂しまして、金融や経済の分野で、より一層踏み

込んで教えるように記述がなされました。これを受けて、小学校では平成23年度から新しい学習指導要領に沿った授業が求められています（中学、高校では翌年度以降、段階的に導入）。本日は益々その重要性が増していますこの「金融教育」をテーマにしまして、2本の講演をお聞きいただきたいと思います。まずは、私ども北海道金融広報委員会の上部組織であります金融広報中央委員会事務局金融教育プラザリーダーの国光幸人（金融教育の司令塔）より「金融教育って何ですか？」と題して講演をしていただきます。その後、10分間の休憩をはさみまして、国立教育政策研究所の工藤文三先生に「学校における金融教育の授業プランのヒント」と題して講演していただきます。ご質問等ありましたら、2つの講演が終わりました後若干時間を設けさせていただきたいと思います。工藤先生は、本日お配りしています「金融教育プログラム」を編纂された最高責任者で、本日旭川に来ていただいたことは大変ラッキーなことでもあります。旭川でこのテーマを取り上げるのは昨年7月に実施しました「金融教育に関する講演会と座談会」に続いて第二弾となります。

なお、本日の開催にあたりましては、金融広報中央委員会のほか、旭川市教育委員会、北海道教育庁上川教育局、財務省旭川財務事務

所、旭川金融協会さんからも快くご賛同・ご後援をいただいております。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

それでは、早速始めさせていただきたいと思います。最後までお付き合いいただきますようよろしくお願いいたします。